

2023年11月23日

渋谷駅桜丘口地区市街地再開発組合
東急不動産株式会社

渋谷最大級のスケールとインパクトを誇る“次世代型ランドマーク” 「Shibuya Sakura Stage」2023年11月30日よりまちが始動

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：星野 浩明、以下「当社」）が参加組合員として参画し、渋谷駅桜丘口地区市街地再開発組合（理事長：岸上 家幸）が推進する「渋谷駅桜丘口地区第一種市街地再開発事業」（以下「本再開発事業」）において、渋谷の新たな次世代型ランドマーク「Shibuya Sakura Stage（渋谷サクラステージ）」（以下「本施設」）は2023年11月30日の竣工以降、順次開業することをお知らせいたします。また、店舗等がおおむね開業する2024年7月26日に、まちびらきイベントを実施する予定です。

竣工に伴い、桜丘エリアの課題であった「まちの分断」や渋谷の特徴でもある「谷地形」などを解決する歩行者ネットワークが整備され、回遊性とアクセスの飛躍的な向上が図れます。また緑あふれる広場や次世代型イベントスペースなどの開業により、多種多様なイベントが開催され、まちとして持続的にぎわいを創出し、これによりいよいよまちが始動します。

■ Shibuya Sakura Stage（渋谷サクラステージ）について

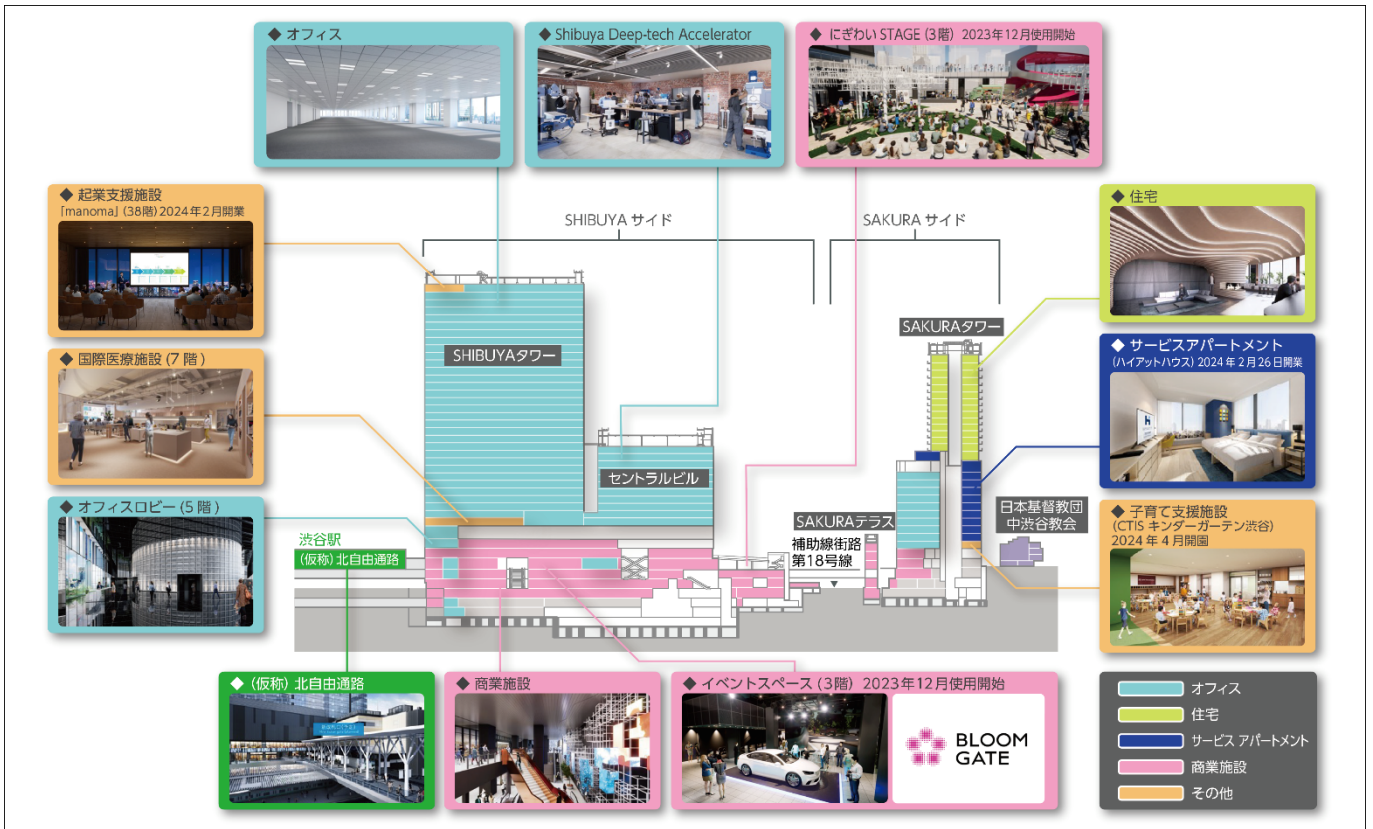
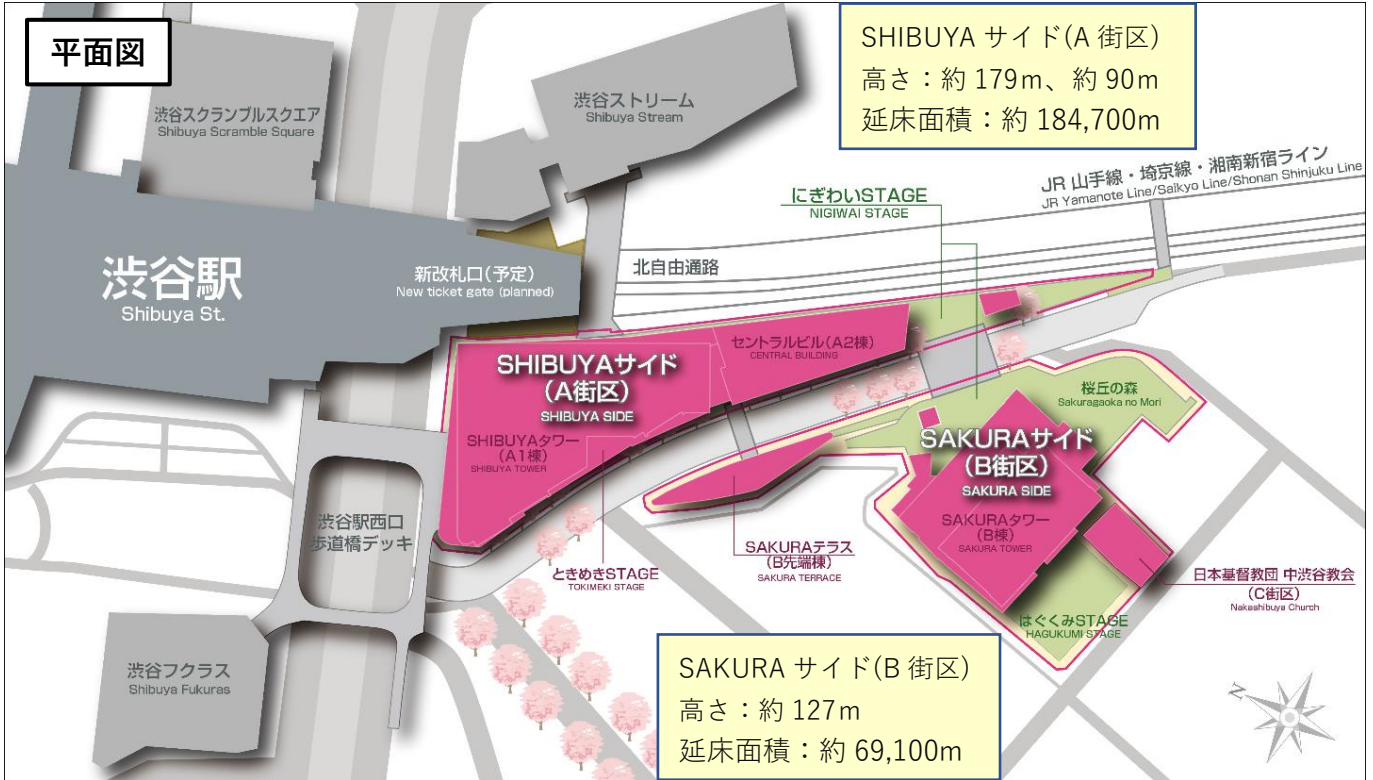
本施設は、日本を代表するターミナルである渋谷駅に隣接し、代官山や恵比寿へのアクセスも良く、オフィス・商業・教育・文化施設のほか住宅等の多様な機能が立地する桜丘に誕生します。



▶ 本施設のポイント

- ・ 駅や周辺地区を結ぶ多層の歩行者ネットワーク整備によりまちの回遊性を向上
- ・ 渋谷駅周辺再開発において最大級の賃貸面積（約100,000㎡）を誇るオフィス
- ・ 渋谷駅中心地区で唯一整備される住宅（ブランド渋谷桜丘）
- ・ 低層階に約15,200㎡の店舗面積（100店舗超）を有する商業施設
- ・ ワーカー、居住者向けサポート機能の導入（国際医療施設、サービスアパートメント、子育て支援施設）
- ・ 世界初となるまちづくりへのIOWNサービスの第一弾として、APN IOWN1.0を2023年12月11日導入予定（当社所有区画）

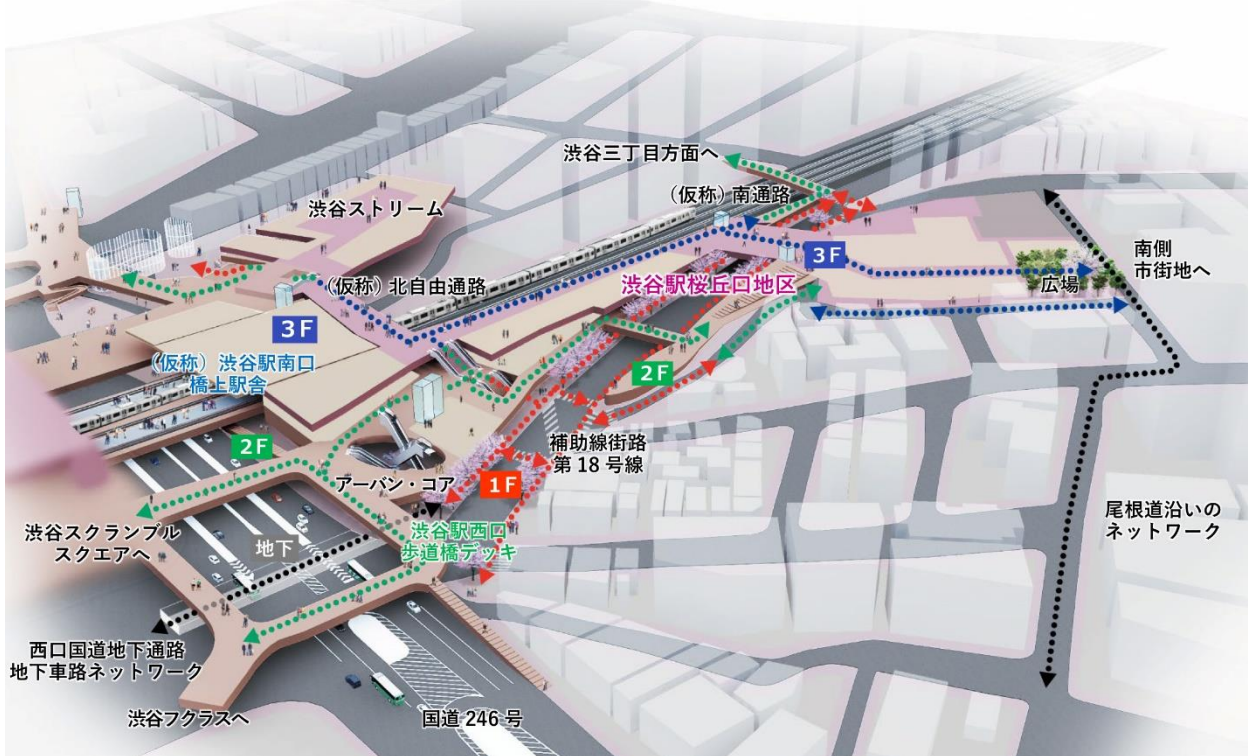
■全体概要



■ 渋谷駅周辺の回遊性がさらに向上、スムーズな移動が可能に

本施設は、100年に一度とも言われる再開発において、渋谷駅中心地区の都市基盤整備を完成させるための重要なプロジェクトです。渋谷駅中心地区には東急グループが関与する渋谷ヒカリエ、渋谷ストリーム、渋谷フクラス、渋谷スクランブルスクエア第1期(東棟)がすでに開業している中、渋谷駅中心地区で唯一の住宅を整備し、「働・遊・住」を兼ね備えた大規模複合施設として誕生することで、まち全体のさらなる魅力向上に寄与します。

また、他街区との回遊性強化、地形の高低差および鉄道と国道246号による桜丘エリアの分断を解消するために歩行者ネットワークの整備を強化しております。都市計画道路(補助線街路第18号線)横断のための歩行者デッキの整備に加え、周辺地区と連携した縦軸動線「アーバン・コア」を導入する他、11月30日の竣工以降、3階の渋谷ストリーム側からの北自由通路と2階の渋谷駅西口歩道橋デッキが開通、2024年秋には、渋谷駅南口新改札口が開通する予定です。駅周辺全体の回遊性が向上し、代官山・恵比寿方面への接続もスムーズとなり、多層の歩行者ネットワークが生まれます。



■ 体験・発信を通してカルチャーを創出する“持続的なまちのにぎわい”機能

桜丘エリアは、渋谷駅前にありながら「趣味を楽しむ」というローカルカルチャーが根付いており、本施設はそのカルチャーを守り、次世代に継承しつつ、最先端のトレンドやカルチャーを創出します。

イベントスペース・広場・デジタルサイネージなど、多様な趣味を楽しむ人々や次世代のクリエイターが集う場所を設置し、デジタルを掛け合わせ、体験・発信することで新たなカルチャーの聖地を目指します。

運営はTOPPAN株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:齊藤 昌典)が担い、新たな取組みとして「カスタマーエクスペリエンスマネジメント(CXM)」を採用します。施設に来街者を集客するために、来訪理由や再来のきっかけを作り、ファンやコミュニティを増加させる「にぎわい循環型」の運営を行います。

リアルとデジタルを掛け合わせた体験設計や、イベントとデジタルサイネージを組み合わせた多面的な情報発信、クリエイターとの接点づくりとコミュニティ創出、当社の他施設のメディアと組み合わせた広域連携施策などに取り組みます。

TOPPAN

1. リアル×デジタルで新たな体験を提供する次世代型イベントスペース「BLOOM GATE」

訪れた人に様々な体験を提供する SHIBUYA タワー 3階イベントスペース「BLOOM GATE」。JR 渋谷駅からダイレクトにアクセス可能な立地は、豊富な用途のイベントやプロモーションに対応できます。縦 4.5m×横 8.13m の大型 LED ビジョンが常設され、JR 渋谷駅やデッキからの人の流れに映像+リアルで訴求でき、高い視認性を実現します。また厨房設備が併設され飲食物の提供も可能です。さらにイベントスペースには IOWN 構想の構成要素である APN IOWN1.0 が搭載されており、最先端の技術で次世代の体験を生み出します。



BLOOM GATE



2. 新たな光の演出、大きな山桜に出会える 3つの STAGE (広場)

イベントスペース・STAGE 全体コンセプト：多彩な物語が発信される、にぎわいの桜が咲き誇る交流の場

本施設の自主開催の参加型イベントから季節の催事、企業による PR イベントなどの様々な体験の場を創出します。多種多様な物語が発信され、そこに人が集い、交流が生まれる。一年を通してにぎわいという名の桜が咲き誇るイベントスペースとなります。

● ときめき STAGE/アーバン・コア

渋谷駅や周りの街区との出入り口には、施設内外を行き交う多くの人々にとって気持ちよく便利で大きなアトリウムである「ときめき STAGE」と、メイン動線の階段・エスカレーター・エレベーターで各階をつなぐ立体広場である「アーバン・コア」が人々をお迎えします。そこからさまざまな方向へ誘う路地のような軽い階段で人の動きが可視化されて、もっとまちをめぐり歩き、探索したくなる構造を意識しています。



● にぎわい STAGE

SHIBUYA サイドと SAKURA サイドをつなぐ横断デッキをはさみ、昼夜ににぎわい溢れるまちの中心となる「にぎわい STAGE」。気象情報や人流などのデータを活用した演出によって 365 日異なる景色を彩ります。空間演出の為に独自に開発した小型照明約 970 台を空間意匠に沿って立体的に配置し、照明と音響を連動させることで、にぎわい STAGE を空間一体として演出します。



<東京・渋谷・桜丘の新名所「しぶ S (エス)」>

さくらの花びらが舞い、渋谷桜丘(Shibuya Sakuragaoka)のイニシャル「S」に変身した新名所「しぶ S」が、にぎわい STAGE に誕生します。まちのシンボルだけでなく、東京・渋谷の新名所として、季節や、昼夜の光加減、周りの環境、人の動きで絶えず変化する光や映り込みを表現し、映り込む行き交う人やまちをピンクの鏡面曲面に発見して、写真や映像で発信する楽しみを提供します。



<キネティック・ファサード>

満開のさくら木の丘を上るときに知覚する、光線や風の流れて多様に変化する花びらが織りなす美しさを表現した「キネティック・ファサード」。新名所「しゅS」と同じ、渋谷のSAKURAに相応しいピンク/曲線・曲面のグラフィックがデザインされています。光の状態と自分の動きで常にデザインが動くので、駅前からにぎわい STAGE へとまちの奥に誘い、色々な場所を色々な時にめぐり歩く楽しみを届けます。



● はぐくみ STAGE

JR 渋谷駅のこれほど近くにありながら、ホンモノの土や生い茂る緑、果樹と菜園、シンボルツリーである大きな山桜に出会える「はぐくみ STAGE」。体を動かすリラクゼーションイベントなど、大都会の真ん中で人々に健康的な心の余白をはぐくむ屋外広場です。



3. 次世代の映像体験で、施設のにぎわいを加速する大型 LED ビジョン

本施設では、様々な場所に新しいコンセプトの商業施設ならではの演出が可能な大型 LED ビジョンを設置しております。ときめき STAGE の吹き抜けを飾る空間意匠に合わせてデザインされた大型 LED ビジョンは、公共空間におけるデジタルアートの新たなプラットフォームとなります。街に溢れる広報用ビジョンとしてではなく、多様な表現者のキャンパスとして機能することで、Shibuya Sakura Stage が表現者に開かれた施設であることを体現します。また、それらと表現連動する施設外壁に沿った 100m を超える長さの LED ビジョンなど、独自の表現が可能なメディアをご利用いただけます。

イベントスペースと組み合わせた訴求により告知と体験の双方を形作る方法や、当社の他施設のメディアを組み合わせた広域帯での情報展開なども可能で、生活者とのエンゲージを最大化します。

本施設の大型 LED ビジョンは、リアルとヴァーチャルを横断する総合的なクリエイティブ力をベースに、豊かな世界観と体験をつくるデザインコレクティブである Flowplateaux「フロウプラトウ」を空間演出プランナーとして採用。多様な映像表現が建築のイメージと融合することで Shibuya Sakura Stage の強いアイデンティティを形成いたします。



4. 多種多様な次世代のクリエイターが集うグローバル・クリエイション拠点「404 NOT FOUND」

2024 年 7 月より利用開始となる、Shibuya Sakura Stage 4 階の中心に位置する「404 NOT FOUND (以下「404」)」は、2023 年 6 月に設立した一般社団法人渋谷あそびば制作委員会により、世代や国・ジャンルを越境し、多種多様な次世代のクリエイターが集うグローバル・クリエイション拠点です。この拠点では、世界初となるインディーゲームクリエイターのコンテンツ制作・パブリシティ活動・国際交流・海外展開支援等を一

気通貫で実現するエコシステムの構築を推進するほか、音楽・食・アート・エンターテインメントなど、多種多様なイベントを同時多発的に開催していく予定です。

インディーゲームクリエイターを軸に様々な分野で活躍するクリエイターとこれから才能を開花させる次世代クリエイターが国内外から集う“渋谷のあそびば”はこれまでにない繋がりを創出し、新たなカルチャーを生み出すクリエイションの実験場として、桜丘エリアから広域渋谷圏を盛り上げていきます。



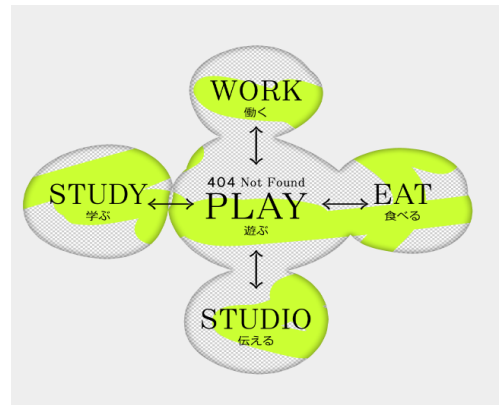
404スペースイメージ



404スペースイメージ

<インディーゲームクリエイターの聖地を実現する構成要素>

404 には、『渋谷の空き地でなにして、あそぶ?』をコンセプトに、インディーゲームクリエイターから広がるグローバル・クリエイション拠点を実現するべく、STUDY (学ぶ)、PLAY (遊ぶ)、STUDIO (伝える)、EAT (食べる) の4つのエリアにて構成します。4つのエリアがシームレスに繋がることで様々なコラボレーションを生み出し、最先端のトレンドやカルチャーを創出・情報発信を促します。



5. クリエイティブ産業に関わる人やスタートアップに向けた起業支援施設「manoma」(38階)

「manoma」は、イートクリエイターと当社が開設した「日本食品総合研究所」が運営する新たな起業支援施設(2024年2月運営開始)です。広域渋谷圏を舞台に活躍するクリエイティブ産業に関わる企業や人、スタートアップの交流促進の場を目指して、渋谷の街との一体感を感じるパノラマ眺望や開放的で洗練されたデザインが魅力の空間です。

イベント開催の機能として180インチスクリーンや音響設備を充実させる他、併設するレストランやラウンジとも連携しながら、カンファレンスやパーティー、トークイベントや商品発表や展示会等の幅広いシーンでご利用頂ける施設となっております。

食領域の「企画」や「体験」づくり、コミュニティを通じてデザイン、ファッション、アート、音楽、シネマ、トラベル、SDGs等の様々なカルチャーとかけあわせながら、クリエイティブ産業における人やスタートアップの交流促進を図ります。



■ 渋谷桜丘エリアにおける今後のイベント情報

Shibuya Sakura Stage 竣工となる 2023 年 11 月末からのイベントとして、以下の開催を予定しています。

Oshibuya sakura stage Pre Opening Party in partnership with VOGUE JAPAN (2023 年 11 月 23 日)

3 階ときめき STAGE、にぎわい STAGE、ブルームゲートを活用した、世界で最も影響力のあるファッション誌『VOGUE』の日本版『VOGUE JAPAN』によるオープニングセレモニー。

新たな名所となる「しぶ S(エス)」をランウェイとして、桜丘エリアにおける新たなにぎわい創出を演出。

※参加者は事前予約者のみ



○カンヌ 監督週間 in Tokio レセプション (2023 年 12 月 8 日)

ソフィア・コッポラ、スパイク・リー、ジム・ジャームッシュ、グザヴィエ・ドラン、大島渚、北野武、黒沢清、三池崇史、西川美和…名監督をいち早く見だしてきた「監督週間」が日本初上陸。

特定非営利活動法人映像産業振興機構（略称：VIPO [ヴィーポ]）が主催となり、「カンヌ国際映画祭」の独立部門である「監督週間（Quinzaine des Cinéastes/ Directors' Fortnight）」とのコラボレーションの一環として、「カンヌ 監督週間 in Tokio」のレセプションパーティを開催。



OSHIBUYA SAKURA GARAGE vol.1 (2023 年 12 月 10 日)

音楽/ゲーム/アートなどさまざまな分野のクリエイターをサポートしながらコミュニティを育み、渋谷の新しいカルチャーを創出するプロジェクト「SHIBUYA SAKURA GARAGE」の第一弾として、メイクアップアーティスト/動画クリエイター (VJ) /ダンスパフォーマーをかけたあわせたイベントを開催。青山ビューティ学院高等部、デジタルハリウッド大学、EXPG STUDIO YOKOHAMA のそれぞれのクリエイターが共通のテーマにもとづきパフォーマンスをプロデュース、共同制作で作品を発表。

<https://shibuya-sakura-garage.com/>



○バーチャルマーケット 2023 リアル in シブハラ (2023 年 12 月 16 日～12 月 17 日)

株式会社 HIKKY がプロデュースするギネス世界記録™を取得した世界最大級の VR イベント『バーチャルマーケット』のリアルイベントとして 2 回目となる『バーチャルマーケット 2023 リアル in シブハラ』（通称 Vket リアル）。前回 4 万人の来場を博した秋葉原での実施から、メタバースカルチャーとシブハラカルチャーを融合させた新しいカタチのリアルメタバースイベントを渋谷・原宿で開催。



○ディズニープラス 特別展示 (2023 年 12 月 18 日～2024 年 1 月 8 日)

<実写>と<アニメ>で2つの世界を描く映像表現を取り入れ、これまで誰も観たことのない全く新しい物語を日本から世界へ発信する、日本発のオリジナルファンタジー・アドベンチャー超大作『ワンダーハッチ -空飛ぶ竜の島-』がディズニーの公式動画配信サービス ディズニープラス「スター」にて 12 月 20 日（水）より独占配信開始。本イベントでは、『ワンダーハッチ -空飛ぶ竜の島-』の世界観を堪能できる特別展示を実施予定。



■ 広域渋谷圏開発について

東急グループでは、渋谷まちづくり戦略“Greater SHIBUYA2.0”において、渋谷駅を中心とする半径 2.5km エリアを「広域渋谷圏 (Greater SHIBUYA)」と定め、「働く」「遊ぶ」「暮らす」の3要素の融合と、その基盤となる「デジタル」「サステナブル」に取り組むことで相乗効果を生み出し、渋谷でしか体験できない「渋谷型都市ライフ」の実現をめざしています。

「Shibuya Sakura Stage (渋谷サクラステージ)」などの渋谷駅周辺の開発に加え、本施設の開発により桜丘～代官山～恵比寿エリアの新たな街の魅力を発信・提案してまいります。

■ 広域渋谷圏における東急不動産の取り組み「PROJECT LIFE LAND SHIBUYA」

「PROJECT LIFE LAND SHIBUYA」は、「人と、はじめよう。」をコンセプトにした、広域渋谷圏における東急不動産の取り組みです。多様な人や企業との共創や、交流の仕組み・場づくりを通じて「創造」「発信」「集積」を循環させ、共感する人や企業とパートナーシップやアライアンスを構築していきます。

当社は、2024 年度までに渋谷桜丘、原宿・神宮前、代官山、代々木公園エリアでプロジェクトの開業を予定しています。

広域渋谷圏におけるエリアを連携させ、長期的な視点のもと、まちの魅力を高めていきます。



PROJECT LIFE LAND SHIBUYA

HP : <https://life-land-shibuya.com>



東急不動産ホールディングス「GROUP VISION 2030」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/group-vision-2030/>

東急不動産ホールディングス「中期経営計画 2025」について

<https://www.tokyu-fudosan-hd.co.jp/ir/mgtpolicy/mid-term-plan/>